

持続可能な社会の実現のために地域に根ざした継続的な活動を支援 第19回「TOTO水環境基金」助成先団体を募集

～これまで、のべ305団体※¹に対し助成を実施し、助成総額は4億4389万円～

※1: 同じ団体が複数回の助成を受けている場合を含む

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:清田 徳明)は、**第19回「TOTO水環境基金」の助成先団体を募集**します。**応募期間は2023年8月1日(火)～10月13日(金)、助成総額は2,760万円を予定**しています。

TOTOグループは2005年度に「TOTO水環境基金」を設立し、水にかかわる環境活動に取り組む団体への支援を続けています。**持続可能な社会の実現のためには、TOTOグループの果たすべき役割である節水技術の追求による環境貢献とともに、地域事情に精通し、地域を支える団体の活動が欠かせない**と考えています。**これまで国内42都道府県及び海外17カ国で活動する、のべ305団体に対し助成を実施し、助成総額は4億4389万円**となっています。また、TOTO水環境基金の助成先団体の活動にはTOTOグループ社員がボランティアとして積極的に参加するとともに、一般市民の方々へも参加を呼びかけています。助成期間が終わっても情報交換やボランティア参加などを通じ、助成先団体を通じた地域の皆様との交流は続いており、年々交流の輪が広がりを見せています。

TOTOは創立以来「水」に関わる事業を展開してきた企業として、**2030年に「持続可能な社会」と「きれいで快適・健康な暮らし」の実現を目指す、新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030**のもと、地域社会の発展と地球環境の保護に貢献する活動を積極的に推進することで、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」に貢献し、今後も世界で必要とされ続ける会社を目指します。

「TOTO水環境基金」応募方法

<https://jp.toto.com/company/csr/mizukikin/spirit/thought/>

TOTO水環境基金 団体募集について

選考方法 ー想いを同じくするパートナーを探してー

助成先団体の選考にあたっては、TOTOグループ社員から選出された選考員が応募団体と面談し、「水環境に関わる地域課題を地域の方々と共に解決したい」という想いを伝えています。そのうえで、応募団体の活動の詳細やどのような想いを持って活動されているのかを確認し、「地域に根ざした活動となりえるか」「一過性の活動ではなく、継続性があるか」という点を中心に選考を行い、想いを同じくする団体と活動をスタートします。

助成 ー地域に根ざした継続的な活動を支援ー

途上国では、水不足や劣悪な衛生環境により、数多くの人々が命を落としています。また、環境保全、貧困、教育、ジェンダーの平等など様々な課題も引き起こしています。このような途上国の抱える課題の解

決には、一時的な水まわり器具などの物資や資金の提供だけでなく、維持や管理の仕組みを根付かせるために、継続的に現地を支え、衛生的な生活環境の重要性を伝えていく活動が欠かせません。また日本国内において、地域の水とくらしの身近な課題解決に取り組む市民団体の活動は、水とくらしの関係を見直し、再生するのに重要な役割を担っています。

TOTO水環境基金は、このような活動を行う団体を支援する事で、持続的な発展を目指しています。

協働 ―地域の一員として共に課題に取り組む―

TOTOグループでは、地球環境に貢献するボランティア活動を「グリーンボランティア」と称し、TOTO水環境基金助成先団体の活動にもグループ社員がボランティアとして参加することを奨励しています。2022年度はコロナ禍においても感染状況を見ながら、社員が活動に参加してきました。また、助成期間終了後も、情報交換やボランティア参加などを通じ、助成先団体をはじめとする地域の皆様との交流は続いており、年々活動の輪が広がっています。さらに、助成先団体のネットワークづくりを目的として、「助成先団体交流会」を毎年開催しています。昨年は4年ぶりに本社にあるTOTOミュージアムにお集まりいただき、TOTOグループ社員も参加しました。こうした活動は、TOTOグループ社員の社会貢献・地域共生に対する意識の醸成と社会貢献活動へ参画する“きっかけ”にもなっており、このプログラムを通じた地域とのコンタクトの積み重ねが、TOTOグループと地域社会との共生につながると考えています。



昨年の「助成先団体交流会」の様子

助成金の算出方法 ―みんなの想いを反映して―

助成金額は、「お客様」に購入いただいた節水商品による節水効果、「株主様」の株主優待制度による寄付、「TOTOグループ社員」によるボランティア活動の参加実績を基に算出し、さらにTOTOがマッチングすることで決定しています。ステークホルダーの皆様の環境貢献への関わりが増すほど、「TOTO水環境基金」の助成金が増えていく仕組みです。



これまでの助成実績

募集年	回数	助成 団体数	総額 (万円)	特記事項
2005年	第1回	12	1,090	
2006年	第2回	12	1,560	
2007年	第3回	29	8,051	創立90周年記念事業として、助成総額の増額 および助成対象地域を海外(アジア)に拡大
2008年	第4回	16	1,200	
2009年	第5回	18	1,102	助成対象地域を海外(全地域)に拡大
2010年	第6回	10	751	
2011年	第7回	16	980	
2012年	第8回	20	1,007	
2013年	第9回	25	1,300	お客様や株主様、そして社員による環境貢献への関わりが増すほど助 成金が増えていく仕組みに一新
2014年	第10回	22	1,430	国内・海外の助成制度を明確に区分
2015年	第11回	24	1,556	
2016年	第12回	35	9,531	創立100周年記念事業として、助成総額の増額 および助成期間を最長3年間に拡大
2017年	第13回	10	1,752	国内の活動に関しては前回に引き続き、助成期間を最長3年間に拡大
2018年	第14回	10	2,465	
2019年	第15回	10	2,656	
2020年	第16回	12	2,747	
2021年	第17回	11	2,478	
2022年	第18回	13	2,733	
合計		305	44,389	

助成先団体の活動紹介



団体名 : アジア協会アジア友の会

活動地域 : フィリピン

助成期間 : 2022年度

【活動概要】

ごみ処理システムのない農村において、有機ゴミの堆肥化と緑化、リサイクルの推進、ゴミ処理意識の向上を図り、現地住民の主体的な取り組みを促しながら水環境を改善していきます。

第19回「TOTO水環境基金」のスケジュール

選定した助成先団体の活動、および複数年助成による継続した活動は、一年を通して行っています。助成先団体の募集は年1回です。今回、8月に募集を開始し、3ヶ月かけて選考の上、2月頃に結果発表します。



「TOTO水環境基金」ホームページ <https://jp.toto.com/company/csr/mizukikin/>

ウェブサイトでは、各団体の活動内容について写真を交えて紹介。
活動に携わった方や現地の皆さんの喜びの声も紹介し、
より具体的に活動の目的や意味・成果をお伝えしています。

新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030



「環境・社会的価値」と「経済価値」を同時に実現する新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030では、「きれいと快適」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」としてサステナビリティ経営を強化し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/profile/philosophy/managementplan>